

AXIS C1310-E Mk II Network Horn Speaker

遠くまで鮮明な音声を伝える屋外対応スピーカー

AXIS C1310-E Mk II Network Horn Speakerは、ほとんどの気象条件での屋外設置に最適です。これにより、ユーザーは遠隔操作で迷惑行為を防止したり、緊急時の指示を伝えたり、一般的な音声メッセージを作成したりすることができます。内蔵メモリーは事前に録音されたメッセージに対応しているほか、担当者がライブで話して通知に応答することができます。オープンスタンダードに基づいており、ネットワークビデオ、アクセスコントロール、分析、およびVoIP (SIPをサポート) と簡単に統合することができます。音声はデジタル信号処理 (DSP) により、クリアなサウンドを保証します。内蔵マイクロフォンにより、リモートヘルステストと双方向通信が可能になります。さらに、内蔵の音声管理ソフトウェアは、ユーザー、コンテンツ、ゾーン、スケジュールなどの管理に対応しています。

- > オールインワン型スピーカーシステム
- > 標準ネットワークへの接続
- > PoEによるシンプルなインストール
- > 健全性のリモートチェック
- > 拡張性が高く統合が容易



AXIS C1310-E Mk II Network Horn Speaker

音声ハードウェア

エンクロージャー
圧縮ドライバー付きリエントラントホーンスピーカー

最大音圧レベル
>121 dB

周波数応答
280 Hz~12.5 kHz

指向特性
水平70°、垂直100° (2kHz時)

音声入力/出力
内蔵マイクロフォン (無効設定可)
内蔵スピーカー

内蔵マイクロフォンの仕様
50 Hz~12 kHz

アンプの説明
内蔵型7 WクラスDアンプ

デジタル信号処理
内蔵および事前設定済み

音声管理

AXIS Audio Manager Edge

内蔵機能:
- 最大200台のスピーカーを20のゾーンに分割できるゾーン管理。
- 音楽およびライブ/事前録音されたアナウンスのコンテンツ管理。
- コンテンツをいつ、どこで再生するかを決定するスケジューリング。
- 緊急メッセージがスケジュールに割り込むようにするコンテンツの優先順位付け。
- システムエラーのリモート検知のための健全性監視。
- どの機能にどのユーザーがアクセスできるかを制御するユーザー管理。
詳細については、axis.com/products/axis-audio-manager-edge/supportのデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Pro

より大規模で高度なシステム向け。別売。
仕様については、axis.com/products/axis-audio-manager-pro/supportのデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Center
AXIS Audio Manager Centerは、マルチサイトシステムのリモートアクセスと管理のためのクラウドサービスです。
仕様については、axis.com/products/axis-audio-manager-center/supportのデータシートを参照してください

音声ソフトウェア

音声ストリーミング
オプションの半二重エコーキャンセルを使用した、単方向/双方向。モノラル

音声エンコーディング
AAC LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726
ADPCM 8 kHz、Axis μ -law 16 kHz、WAV、MP3、モノラル/ステレオ、64 kbps~320 kbps。
固定および可変ビットレート。
サンプリングレートは8 kHz~最大48 kHz。

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース
VAPIX®など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI、ワンクリッククラウド接続、AXIS Camera Application Platform (ACAP)。

ビデオ管理システム
AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、AXIS Camera Station 5、およびaxis.com/vmsで入手可能なAxis/パートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

大量通知
Singlewire InformaCast®、Intrado Revolution、Lynx、Alertus

統合通信
検証済みの互換性:
SIPクライアント: 2N、Yealink、Cisco、Liphone、Grandstream
PBX/SIPサーバー: Cisco Call Manager、Cisco BroadWorks、Avaya、Asterix、Grandstream
クラウドサービスプロバイダー: Webex、Zoom

SIP
サポートされているSIPの機能: セカンダリSIPサーバー、IPv6、SRTP、SIPS、SIP TLS、DTMF (RFC2976およびRFC2833)、NAT (ICE、STUN、TURN)
RFC 3261: INVITE、CANCEL、BYE、REGISTER、OPTIONS、INFO
DTMF (RFC 4733/RFC 2833)

イベント条件

音声：音声クリップ再生、スピーカーテスト結果
呼び出し:状態、状態変化
装置ステータス: IPアドレスのブロック/削除、ライブ
ストリームアクティブ、ネットワーク接続断絶、新しい
IPアドレス、システムの準備完了
エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、スト
レージの健全性に関する問題を検出
I/O: デジタル入力、手動トリガー、仮想入力
MQTT: サブスクライブ
スケジュールおよび繰り返し: スケジュール

イベントアクション

音声：自動スピーカーテストを実行
音声クリップ：再生、停止
I/O：I/Oを切り替え
ライトとサイレン：走行、停止
MQTT：パブリッシュ
通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
録音：音声の録音
SNMPトラップメッセージ：メッセージの送信
ステータスLED：点滅

設置支援機能内蔵

テストトーンの検証と識別

機能モニタリング

オートスピーカーテスト (内蔵マイクロフォンでの試験)

認証

製品のマーキング

CSA、UL/cUL、UKCA、CE、KC、EAC、VCCI、RCM、BSMI

サプライチェーン

TAA準拠

EMC

EN 55035、EN 55032 Class B、EN 50121-4、
EN 61000-6-1、EN 61000-6-2
オーストラリア/ニュージーランド:
RCM AS/NZS CISPR 32 Class B
カナダ: ICES-3(B)/NMB-3(B)
日本: VCCI Class B
韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class B
米国: FCC Part 15 Subpart B Class B
鉄道: IEC 62236-4

安全性

CAN/CSA-C22.2 No62368-1 ed. 3、
IEC/EN/UL 62368-1 ed.3

環境

IEC 60068-2-1, IEC 60068-2-2, IEC 60068-2-6,
IEC 60068-2-14, IEC 60068-2-27, IEC 60068-2-78,
IEC/EN 60529 IP66, NEMA 250 Type 4X,
MIL-STD-810G 509.5, MIL-STD-810H 509.7

サイバーセキュリティ

ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label

ネットワーク

ネットワークプロトコル

IPv4/v6¹、HTTP、HTTPS²、SSL/TLS²、QoS Layer 3
DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、Bonjour、
UPnP™、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS、DynDNS、
NTP、RTSP、RTP、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、
RTPC、ICMP、DHCP、ARP、SOCKS、SSH、NTP、SIP

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延
からの保護、ダイジェスト認証、パスワード保護
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティ
プラットフォーム
セキュアエレメント (CC EAL 6+)、AxisデバイスID、
セキュアキーストア、セキュアブート

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS)²、
IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、
HTTPS/HSTS²、TLS v1.2/v1.3²、Network Time Security
(NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイア
ウォール

文書化

AXIS OSハードニングガイド
Axis脆弱性管理ポリシー
Axisセキュリティ開発モデル
AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)
ドキュメントをダウンロードするには、[axis.com/
support/cybersecurity/resources](https://axis.com/support/cybersecurity/resources)にアクセスしてくだ
さい。
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細につい
ては、axis.com/cybersecurityにアクセスしてくだ
さい。

システムオンチップ (SoC)

モデル

NXP i.MX 8M Nano

メモリー

1024 MB RAM、1024 MBフラッシュ

1. IPv4のみでの音声同期。

2. 本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eay@cryptosoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

概要

ケーシング

IP66およびNEMA 4X規格準拠
アルミニウム製バック缶とステンレススチール製ブラケット
カラー：白RAL 9010

電源

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at準拠
Type 1 Class 3
通常2 W、最大12.95 W

コネクタ

ネットワーク: RJ45 10BASE-T/100BASE-T PoE
I/O:4ピン2.5 mmターミナルブロック (設定可能な状態
監視I/O×2用)

LEDインジケータ

ステータスLED、前面LED

信頼性

24時間365日の常時運用向けに設計。

動作温度

温度:-40 °C ~ 60 °C (-40 ° F ~ 140 ° F)
湿度:10~100% RH (結露可)

保管条件

温度:-40 °C ~ 65 °C (-40 ° F ~ 149 ° F)
湿度:5~95% RH(結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

重量

1.3 kg

パッケージ内容

ホーンスピーカー、インストールガイド、ターミナルブロックコネクタ、コネクタガード、ケーブルガスケット、リングターミナル、所有者認証キー

オプションアクセサリ

AXIS T91B47 Pole Mount、AXIS T91F67 Pole Mount、Cable Gland M20x1.5、RJ45、Cable Gland A M20、AXIS Power over Ethernet Midspans、T94R01B Corner Bracket、T94P01B Corner Bracket、T94S01P Conduit Back Box
その他のアクセサリについては、axis.com/products/axis-c1310-e-mk-ii#accessoriesにアクセスしてください。

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語(簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語(繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証

5年保証、axis.com/warrantyを参照

製品番号

axis.com/products/axis-c1310-e-mk-ii#part-numbers
で入手可能

サステナビリティ

物質管理

PVC不使用、EDEC/ECA標準JS709に準拠
RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018)に準拠
(EC) No 1907/2006に準拠したREACH。 SCIP UUIDについては、echa.europa.euを参照してください。

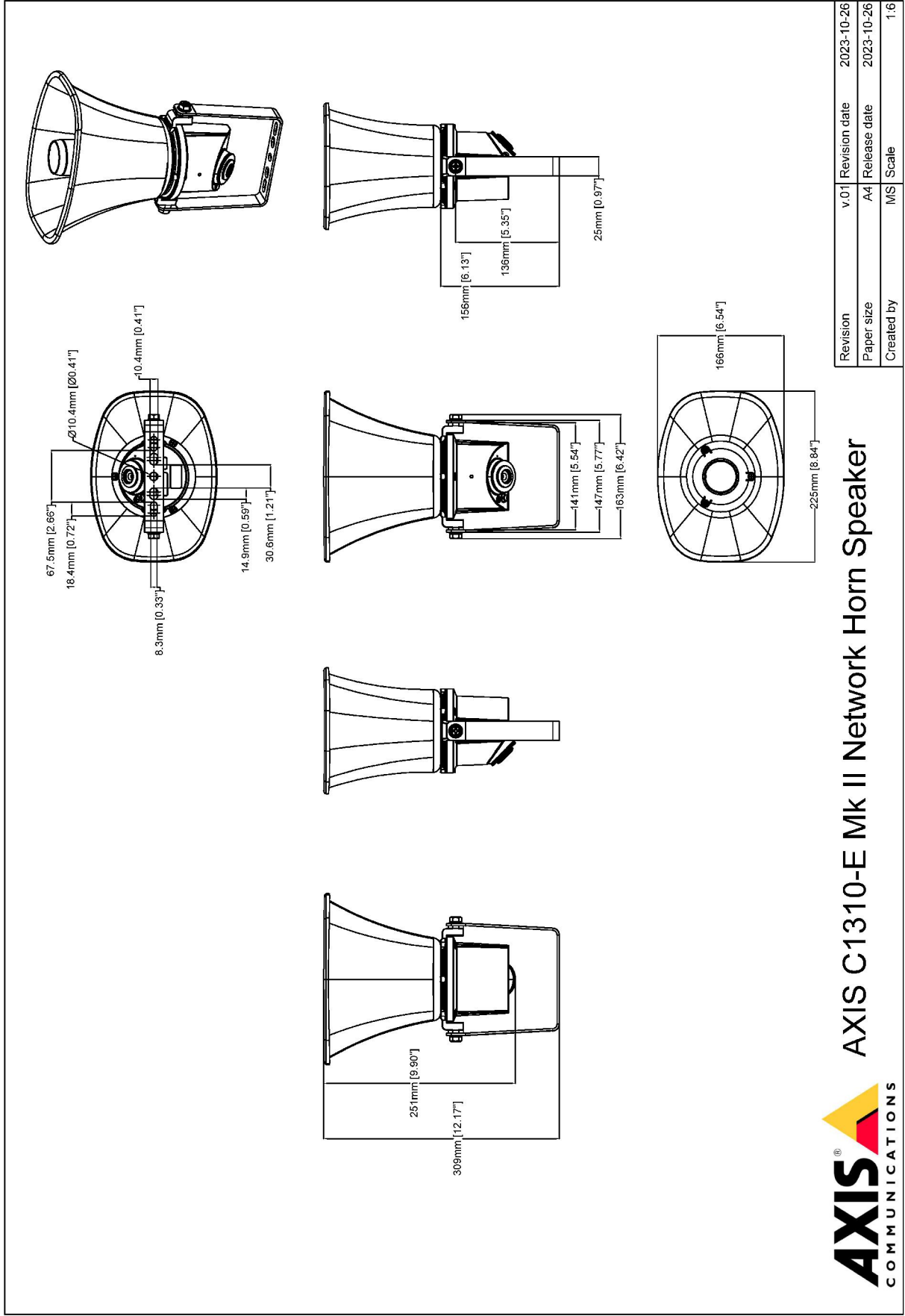
材料

OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任

axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細についてはunglobalcompact.orgを参照)

寸法図面



Revision	v.01	Revision date	2023-10-26
Paper size	A4	Release date	2023-10-26
Created by	MS	Scale	1:6

AXIS C1310-E Mk II Network Horn Speaker



注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、セキュアブートは、装置が署名付きOSでのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、セキュアキーストアは、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault](https://www.axis.com/solutions/edge-vault)にアクセスしてください。

詳細については、[axis.com/glossary](https://www.axis.com/glossary)を参照してください。